

## 【優秀施工者国土交通大臣顕彰について】

良質な住宅・社会資本の整備のためには何よりも直接工事に携わる技術・技能に優れた人材が必要不可欠です。また、国民生活の向上に重要な役割を果たす我が国の基幹産業である建設産業にとって、優秀な建設技能者の確保・育成が大きな課題となっています。

国土交通省では、建設産業の第一線で「ものづくり」に直接従事されている方々に誇りと意欲を持っていただくとともに、これらの方々を広く国民に知っていただき、その社会的地位・評価の向上を図っていくことを目的として、特に優秀な技術・技能を持ち、後進の指導・育成等に多大な貢献をされている建設技能者の方々を対象として、優秀施工者国土交通大臣顕彰を実施しています。

また、次世代の建設現場の担い手を確保・育成すること、建設マスターに達するまでの技術・技能の向上を図ることを目的として、優秀な技術・技能を持ち、今後さらなる活躍が期待される青年技能者の方々を対象として、今年度より新たに青年優秀施工者土地・建設産業局長顕彰を設けました。

建設マスターは平成4年度より実施されており、第24回目となる平成27年度は406名を顕彰し、これにより建設マスター総数は合計8,819名となります。また、今年度より新設された建設ジュニアマスターとして110名を顕彰します。

なお、女性技能者については、建設マスターで9名（過去最高）、建設ジュニアマスターで4名が被顕彰者となっています。

・建設マスター：

土工1名、建具工1名、電気工3名、電気通信工1名、造園工1名、建設機械運転工2名

○建設ジュニアマスター：

塗装工1名、内装仕上工1名、造園工1名、建設機械運転工1名

優秀施工者国土交通大臣顕彰の詳細については、下記のホームページをご覧ください。

[http://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/1\\_6\\_bt\\_000062.html](http://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/1_6_bt_000062.html)

今年度の傾向

建設マスター

○被顕彰者の年齢構成

	平成27年度	平成26年度	平成25年度
平均年齢	51.3歳	51.6歳	51.5歳
最も多い年齢(人数)	52歳(31人)	51歳(28人)	57歳(26人)
最低年齢	36歳	37歳	38歳
最高年齢	72歳	70歳	73歳
35～39歳の人数	5人	4人	6人
40～49歳の人数	163人	135人	136人
50～60歳の人数	218人	233人	220人
61歳以上の人数	20人	17人	16人
被顕彰者数	406人	389人	378人

○被顕彰者の主な職種

	平成27年度	平成26年度	平成25年度
土工	48人(11.8%)	46人(11.8%)	45人(11.9%)
建設機械運転工	43人(10.6%)	45人(11.6%)	47人(12.4%)
大工(型枠大工含む)	42人(10.3%)	32人(9.0%)	42人(11.1%)

建設ジュニアマスター

○被顕彰者の年齢構成

	平成27年度
平均年齢	36.4歳
最も多い年齢(人数)	39歳(26人)
最低年齢	29歳
～29歳の人数	2人
30～34歳の人数	21人
35～39歳の人数	87人
被顕彰者数	110人

○被顕彰者の主な職種

	平成27年度
塗装工	11人(10%)
土工	10人(9.1%)
建設機械運転工	10人(9.1%)